

第2回

小中一貫教育



小規模校全国サミット in 宮島

今こそ、小中一貫教育小規模校の強みを全国に広げよう!

報 告



平成29年1月吉日

主催：小中一貫教育小規模校連絡協議会

宮島小・中学校（広島県廿日市市）京都大原学院（京都市）田原小中学校（奈良市）

後援：廿日市市教育委員会 京都市教育委員会 奈良市教育委員会

小中一貫教育小規模校サミット共同宣言

今日、グローバル化の時代を迎え、世界は狭くなり、未来は予測不能とされています。しかし、そんな今だからこそ、子どもたちには年齢や環境が違う人々と協力し合いながら、たくましく生きぬいていく力をつけていかなければなりません。これは、自分の住んでいる地域に根をはり、自信を持って、世界へ発信していける子どもを育てることにほかありません。

また、少子高齢化の中で、ますます教育の質の高さが求められています。小規模校の学校・地域に関わる私たちは、その課題を一番身近に、切実に感じられる環境にあります。

その課題解決のキーワードが、「小中一貫教育」であり、「地域との連携」です。

それぞれの地域で、特色のある取り組みを学校教育のカリキュラムの中に取り入れ、地域之力と重ね合わせていくことで、一人ひとりの子どもの可能性を伸ばしていくことができます。「地域の宝」である子どもたちの教育を、子どもたちの学ぶ姿や実践を通じて語り合い、交流し合うことで、小中一貫教育小規模校の成果へとつながります。

私たちは、小規模校における小中一貫教育の可能性を再認識し、共につながることで、教育の新しいうねりを生み出していきます。

これを共同宣言とさせていただきます。

平成28年12月3日

小中一貫教育小規模校連絡協議会

【 報 告 】

1 日 時 平成28年12月3日(土)10:00～16:40

2 場 所 広島県廿日市市立宮島小・中学校(愛称:宮島学園)

3 主 催 小中一貫教育小規模校連絡協議会
京都大原学院(京都市), 田原小中学校(奈良市), 宮島小・中学校(広島県廿日市市)

4 参加者

北海道から沖縄まで, 教職員, 教育委員会関係者, 大学生, 地域, 保護者等, 総勢約200名余りの参加者であった。

5 日程

| | | | | | | | |
|--------------------|------------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------|--------------------------------------|-------|
| 9:30 10:00 | 10:00 10:45(小) 10:50(中) | 10:50 11:05 | 11:05 11:25 | 11:25 11:50 | 11:50 | 12:40～ | 16:40 |
| 受付開始 | 公開授業 (各教室) | 移動 | 吹奏楽部 演奏 (体育館) | 研究報告 | 昼食休憩 | 小中一貫教育 小規模校全国サミット 全体会 (体育館) | 終了 |

(1) 公開授業 宮島小・中学校の研究主題:「宮島を誇りに思い・宮島の未来を創る児童生徒の育成」

| 学年 | 教科 | 単元 | 授業者 | 学年 | 教科 | 単元 | 授業者 |
|-------------------|--------------|--------------------------------------|--|----------------|---------------|----------------------------|--------------------|
| 1年 | 生活科 | つくろう あそぼう 「まくら・わくわくランド」へ ようこそ! | 1年担任:高坂 朱美 1年特別支援学級 担任:置名 智恵 | 4年 | 総合的な 学習の時間 | 達人に学ぼう ～宮島の伝統工芸～ | 4年担任:荒木 克彦 |
| | | | | 5年 | 図工 | 焼いてつくろう! 宮島のすず(土鈴) | 中学校教諭(美術) 中原 有紀 |
| 2年 | 算数 | 三角形と四角形 | 2年担任:橋本 明奈 | 6年 | 算数 | 図形の拡大と縮小 (9年数学との関連内容) | 6年担任:吉川 尚子 |
| 3年 | 学活 (健康教育) | 手あらい名人に なろう (3年・7年による合同授業) | 3年担任:加藤 悦子 7年担任:野田 博義 養護教諭 (小)青野 麻美 (中)平田 直美 | 8年 | 国語 | 説得力のある提案をし よう プレゼンテーション | 中学校教諭(国語) 荒山 恵子 |
| 7年 | | | | 9年 | 数学 | 相似な図形 (6年算数との関連内容) | 中学校教諭(数学) 田中 良典 |
| :小中一貫教育の良さを生かした授業 | | | | :地域とのつながりのある授業 | | | |

(2) 児童生徒発表 吹奏楽部演奏(4年生から9年生までによる演奏)

曲名 「鳥之石楠船神」

(3) 研究報告

地域を生かし, 宮島の未来を創る児童生徒の育成をめざした
小中一貫教育9年間の実践報告

6 内容(午後)

第2回小中一貫教育小規模校全国サミットin 宮島 全体会

(1) 開会行事

① 開会挨拶

京都大原学院 校長

② 来賓祝辞

廿日市市教育委員会教育長 奥 典道 様

京都市教育長 在田 正秀 様

奈良市教育長 中室 雄俊 様

(2) 講 話

『小中一貫教育に期待するもの』

文部科学省 初等中等教育局 初等中等教育企画課長 森田 正信 様

(3) 基調提案

『小中一貫教育の意義と課題 ～小規模校の「ピンチ」を「チャンス」に変える～』

国立教育政策研究所名誉所員及び、流通経済大学教授

(4) 実践交流

①京都大原学院, 奈良田原小中学校, 広島宮島小・中学校の3校による報告

(3校合同による理科のテレビ会議システムを活用した遠隔授業の報告)

②グループディスカッション(今後の小中一貫教育小規模校の展望について)

進行役 奈良教育大学准教授

(5) 講評 奈良教育大学教職大学院教授

(6) 共同宣言 奈良田原小中学校 校長

(7) 閉会挨拶 広島宮島小・中学校 校長

7 成果

- 小中一貫教育小規模校連絡協議会の3校の設置者である京都市教育委員会, 奈良市教育委員会, 廿日市市教育委員会の教育委員会の後援を得て, 本サミットを開催することができた。
- 今回は, 文部科学省の初等中等教育企画課長 森田 正信 様によるご講話, 国立教育政策研究所名誉所員及び, 流通経済大学教授 小松 郁夫 様による基調提案を直接お聞きすることができ, 今後の小中一貫教育小規模校としての実践に大きな力とご示唆をいただくことができた。
- 公開授業では, 本サミットの趣旨に基づき「小中一貫教育のよさを生かした授業」「地域とのつながりを生かした授業」を行い, グループディスカッションやアンケートで評価を得るとともに, 奈良教育大学教職大学院教授 小柳 和喜雄 様から具体的な授業づくりのご講評をいただき, 小中一貫教育小規模校の授業の在り方等について学ぶことができた。
- 北海道から沖縄までの小中一貫教育小規模校の実践・研究をすすめる教職員とグループディスカッション等を通して, 今後の小中一貫教育の推進について, 共に主体的な協議・意見交流ができ, 希望と夢のあるつながりをもつことができた。

第2回小中一貫教育小規模校全国サミット in 宮島

アンケート 記述内容

☆公開授業について

- ・ 3・7年生というめずらしい交流を見ることができてよかった。
- ・ この教科，時間ばかりでなく日々の積み重ねの中で培われた小中のより良い関係，特に7年生の身についた思いやりの行動に感心しました。
- ・ 3年，7年の授業を中心に見せていただきました。互いに学びが深まる様子が分かりました。人として成長していくのだろうということも分かりました。（少子化のため地域でも子ども同士で関わる機会が減りましたから）
- ・ 多くの見学者がいる中でも，しっかり活動できていたと思います。7年(中1)が小3の児童にしっかり教える姿は良かった。
- ・ 3・7年生の授業を拝見しました。こんな関わり方があるのかと驚きました。「聞き方」「伝え方」について，しっかり考えることができる取り組みだと思いました。
- ・ 「手洗い名人になろう」の授業を1時間見せていただきました。ねらいに，3年生は上級生との関わり，7年生は下級生との関わりによる自己肯定感について述べられていたので，特にふり返りのところをよく見せていただきました。3年生の発表を聞いている7年生が，照れながらも喜んでいる様子が印象的でした。こうした縦の交流は今の子たちには大切だし，必要なことなんだと改めて感じました。
- ・ 3年生と7年生の合同学活を興味深く参観させていただきました。自校でも中学生に手本になれと言っていますが，まだまだそういう場を計画的に設定できていないなと感じました。参考になりました。
- ・ 4年生の授業を主に見せていただきました。宮島の伝統産業について調べたり学んだりしたことを上手に発表できており，これからのことをよく考えていてよかったです。
- ・ 4年生のまとめの発表はすばらしかったです。普段の発表の際の声の大きさと違っており，発表を意識しているんだと思いました。
- ・ 地域とのつながりという小規模校の強みもしっかり生かされた授業づくりができていたと感じました。どの学年の子どもたちも大きな声でわかりやすい発表で伝える力がついてきていると感じました。
- ・ ICTの活用を実践されており，児童生徒も使い方に慣れているということが印象的でした。小規模校の特徴を活かし，少人数で丁寧な指導をされていることが授業，掲示物等から伝わってきました。どの程度の活用時間で成長をしたのかが気になりました。普段の授業の大切さを痛感しました。ありがとうございます。
- ・ ヒントカードなど個別の支援がスムーズに行われていた。図形の答え合わせがすぐに出来るよう，答えの準備（プラスチックカード）がある。
- ・ グー・チョコキ・パーで自分の意見がまとまったかどうか指すことができたり，伝え合う活動も相手目線を考えて，自分のプリントを指し示しながらだったり，素敵だなと思いました。
- ・ 小規模ならではの宮島の取材を通し，対策，どうすべきかを筋道たてて考え，発表していてICTの使用でわかりやすく，とても参考になりました。ありがとうございます。
- ・ 春にみた時より，大人びて見えました。伝えたいことが，うまく伝えられているのを見て感心しました。
- ・ 8年生の国語を見させて頂きました。プレゼンの仕方，ふりかえりの仕方等を含め，小規模校の強みである，教員と生徒の距離の近さを強く感じました。生徒ひとりひとりの良さをまとめて言ってあげており，とても良い先生だと思いました。小規模校の教育の素晴らしさを改めて認識できました。
- ・ まさにアクティブラーニングの授業ですばらしかったです。地域を生かし，日常に根ざした数学ははじめて見ました。
- ・ 電子黒板等を活用され，視覚的にとてもわかりやすく生徒の考えが伝わりました。また，地域に密着し

- た題材で、様々な方法で求めてあり、とても興味深いものでした。大仏、清水寺と先生の熱意も伝わり、あの生徒のプリントがほしいなと思ってしまいました。あのワークシート、すばらしかったです。
- ・中学校数学では、地域の素材を生かし工夫ある取り組みでよかった。特に、その教材がどのように学びにつながるかも考えられており、小中一貫教育の有意性が見られた。
 - ・9年生数学を参観させていただきました。生徒一人一人が堂々人前で発表（説明）できるまでに至る過程を聞きたかったです。数学が生活の中で生活に活かされていることを語る生徒に感動しました。
 - ・9年生の数学を見せていただきました。事前に大鳥居に行って測量し、高さを求める授業をしていたため、スムーズに学習が進んでいました。生徒のプレゼンの能力が高いのに驚きました。先生も奈良から京都までお疲れ様でした。
 - ・数学と算数の授業を参観させていただきました。2年生、6年生、9年生と学習が積み重ねられていくことがよく見えました。9年生は実際に測量したりして、主体的に学んでいると感じました。
 - ・算数と数学の授業を参観させていただき、学びの系統性の大切さが確認できました。低学年からの「理由の説明」の積み重ねが中学生での力につながると思います。
 - ・公開のためにいろいろと準備された苦労が伝わってくる授業ばかりでした。中でも電子黒板を活用している授業（数学）には目を惹かれました。指導者だけでなく、生徒が使えるようになるまでには、時間と研修が必要だったのではないかと感心とともに取り入れていきたい気持ちが高まりました。
 - ・算数、数学の授業を参観させていただきました。9年間の学びのつながりを意識して取り組むことはとても大切で、一貫校では、それがやりやすい環境にあることを改めて学ぶことができました。タブレットの活用のアイデアも参考になりました。
 - ・高学年のICTを用いた発表が良かった。電子黒板をあそこまで使いこなせるとは思ってなかったと同時に、授業をみても電子黒板を有効的に使っていた。
 - ・特に中学生の明るい表情が9年間でしっかりと育っている姿だと感じました。
 - ・規律正しい児童生徒を育てていこうというのが、小中でブレることなく系統性を感じさせる縦軸が太く貫いている上での各学年の特色を出そうとしていることが生徒さんの様子からうかがうことができました。
 - ・素直で一生懸命学ぶ姿がすてきでした。自分の考えを根拠をもとに友だちに伝えたり、友だちの発言に「ほんまじゃ、同じ」とつぶやいたり子どもたちが学び合い高めあっていた姿が良かったです。とても勉強になりました。（1年、2年、6年、3・7年）
 - ・子どもたちの学習スタイル（発表の仕方、ノートのとり方、グループ協議）等が低学年からていねいに指導されている様子がよくわかった。小中一貫校取り組みの成果、よさが子どもたちの姿に見ることができた。
 - ・全授業を見させていただき、子どもたちが大変落ち着いて授業を受けているのに感心しました。本校の子どもたちは主体性や表現力等に課題があり、その課題克服に向け日々研究しております。本日の授業から、プレゼンテーションやグループでの話し合いなど、次期学習指導要領を見すえた取り組みがなされているということがわかりました。勉強になりました。
 - ・地域教材を豊富に取り入れられ、生徒の主体的な学び、教員のファシリテーターとしての役割、すばらしい授業ありがとうございました。（8年、9年）
 - ・どの学年も本サミットの趣旨をふまえた提案性の高いものでした。
 - ・学習規律がしっかりしていることが、まずどのクラスでも感じました。その上で、プレゼンテーション力、ICT活用力、協働的学習を進めておられました。学校に戻り、是非伝えたいことがたくさんありました。
 - ・小中一貫の良さ+ふるさと教育の良さが、とても良く表れた授業が多かった。素直な宮島を愛する子どもたちだと思った。

- ・ 9年間のつながりを意識した指導案，参考になりました。学習規律がしっかりしていて，子どもたちがはっきりと自分の意見を言えているところがすばらしいと思いました。
- ・ いくつかの教室をのぞかせていただきましたが，どの教室も掲示物が豊富で整理整頓されており，日頃から先生方の細やかな指導がなされていることが伝わってきました。一番驚いたのが，学校全体のものとしての掲示です。各学年の教室内でなく，廊下や掲示板に貼られているものが，内容だけでなく形や色など作り方まで先生方の明確な意図を感じるものでした！！
- ・ 地域の財をいかした授業づくり，中学校美術科の先生が組み立てられる9年間の系統的なカリキュラム，そして小中接続，すばらしい実践であると感じました。
- ・ どの学年もグループ活動の発表や全体発表時に相手を意識して，伝わるように活動していました。これも小中一貫教育で培われたものだと感じました。
- ・ 地域のことを題材とした授業をされていて生徒たちにも興味のあるものだったと思うし，その発表もすばらしかったです。ハッピーツリーっていいですね。
- ・ 落ち着いた子どもたちと一生懸命な先生方，その背景には吟味され精選された内容がシンプルに配置されたシステムがあると感じました。見たものが大変だなと感じることで，子どもたちが積み重ねている力をつけた「姿」がありました。
- ・ 9年間あるいは，他学年を意識がはっきりと感じられる内容が多く，「いいなあ，これこそ小中一貫教育の強みだなあ。」と思いました。

☆児童生徒の発表について

- ・ 見事な演奏でした。日頃からよくきたえておられるのがわかりました。
- ・ とても感動的でした。7～9年生が4～6年生にも教えることで，そして同じステージに立つことで4～6年生は「背伸び」し，大きな力をつけていると感じました。
- ・ 一人一役だけでなく，複数の楽器を飛ぶように移動してみんな生き生き演奏している姿に大変感動しました。小さい子は小学生でしょうか？
- ・ 4年生から部活動を行っているということに驚きましたが，全員がしっかり演奏をしいておりすばらしかったです。小規模校でも，小中一貫であることで，部員がそろっていていいなと感じました。
- ・ 小中合同の演奏はとても素晴らしかったです。上級生が下級生に指導する姿が想像されます。
- ・ 吹奏楽部の発表すばらしかったです。小学生と中学生が同じ部活としてされているのが驚きでした。うちの学園は，小学生はクラブで中学生とはわかれているので。
- ・ しっかりと練習を積み，迫力あふれる素晴らしい演奏でした。鳥肌が立ちました。先生の指導力の高さを感じました。
- ・ 吹奏楽発表迫力がありました。あれだけの人数ですばらしい演奏でした。小学生らしき子が右に左に移動しながら演奏したり，中学生の男の子がすばらしいばちさばき…とてもすばらしかったです。選曲もよかったです。
- ・ 吹奏楽部の演奏は「宮島」に来たなと思える曲で，大変素敵な演奏でした。金賞を小規模校でも受賞できることは，きっと宮島学園の子どもたちに大きな自己有用感を与えられたことと思われま

- ・小規模校でありながら、吹奏楽の発表は大変力強く、さすが金賞を取られた実力があると感じました。また小学生も一緒に演奏しているということを知り、一貫校のよさを生かした活動ができていると思いました。
- ・小学生の技術の高さに驚きました。小規模の弱みを強みに変え児童生徒の中にも、縦のつながりが一本しっかり通っているように感じられた。
- ・吹奏楽の発表すばらしかったです！！感動しました！！少人数だからいくつかの楽器を兼任する…というのは、分かりますが下級生の子が上級生の楽器を受け取りに行く姿を見てすばらしい…！！と思いました。難しすぎる曲で一体どんな楽譜を見て、この子たちは今まで練習してきたんだろう…？ここまで仕上げるのに、どれだけの時間を費やしてきたんだろう…？と考えると本当にすごいことだなあと感動します。でも、何より音が1つにまとまり人に感動を与えるのには、子どもたち、そして先生方の心が1つにつながっているからだと思います。下級生たちにとっては、すばらしい目標が側にいて、恵まれているなあ…と思います。朝、暗いうちから家を出てはるばる宮島までやって来たかいたがあったなあ…と心から思いました！！吹奏楽部の皆さんに感謝です！！
- ・「素晴らしい」の一言です。小中一貫の強みを存分にいかされていたことが分かりました。
- ・小、中児童生徒が互いに影響を受け合い、活動されている様子、そこで育まれる自己肯定感、自尊感情とてもよい伝統だと思います。
- ・すばらしい演奏でした。小4～中3までの構成ですごいですね。宮島らしいひびきがとてもよかったです。このような演奏を子ども達自身はどのように感じているのでしょうか。誇りに思っていれば、いいなあと思いました。
- ・少人数ながら、複数の楽器を担当するなどの少数で非常にレベルの高い演奏を聞かせて頂き、涙が出そうになりました。
- ・大変すばらしい演奏を聞かせて頂きありがとうございました。小学生から中学生と一緒に日常より一生懸命していることだろうと感じました。小中一貫教育の強みの一つだと感じました。

☆本校の研究報告について

- ・とてもわかりやすく、「地域を愛する」という視点での一貫した取組はとても参考になりました。
- ・小規模校であること、小中一貫であること、とても参考になりました。1年～9年のツリーは、とてもよく、本校でも実施したいと思いました。こういう組織をつくっていったこれまでのご苦労と情熱を感じました。
- ・自己有用感を育てるきめ細やかな指導のあり方、地域に根ざして思考力・判断力・表現力を育成する指導事例を学ばせていただきました。
- ・学校・地域・行政が一丸となって取り組む事が大切であると感じました。
- ・児童生徒のつながりがとても密に行われていると思いました。様々なとりくみがすべて9年間を通して行われており、小規模校ならではのなと感じました。
- ・「強み」と「児童生徒の自己肯定感」がキーワードだと感じました。この2つが宮島学園の児童生徒に「確かな学力」を育てていると感じました。
- ・本校（玉川中）は中山間地の小規模校ですが、「自己有用感」の低さは課題となっており、同じ課題をかかえる中、どのように解決をはかるのか工夫されている取組が参考になりました。本校もESDユネスコスクールに加盟しているため、距離とは関係なく親近感が沸きました。
- ・「生徒指導」と「研究推進」がいかに系統的に重層的に取り組まれていることがよくわかりました。本町も参考にさせていただきたいと思います。
- ・小中の先生方が協力して、やられているのを感じました。上の学年をみて下は成長する。小中一貫のメリットがいかにされていると感じました。また、ほとんどの生徒が郷土愛をもっているところも、すば

らしいなと感じました。とても参考になりました。

- ・地域にほこりを持つ為の様々なアプローチが全て効果を発揮しており、驚きました。しっかり数値化しており、わかりやすかったです。
- ・小中一貫校、小規模校の特徴を活かされた研究をされており、本校でも活用できる部分を活用させていただきたいと思います。ハッピーツリー（とてもかわいいと思いました。）、縦割り班活動など実践できることが多かったです。ありがとうございました。
- ・子どもたちの自己肯定感をあげるためのハッピーツリーの取り組みは大変参考になりました。すぐに本校でも取り入れたいと思います。本日の報告で使用したスライドの中で、HPに乗っていない資料をいただけないかと思いました。
- ・授業だけでなく、それを支えている様々な取り組みを紹介していただき、今後の取り組みに大変役立つものばかりでした。
- ・研究の柱立ての明確化、9年間の系統を考えた指導、自己有用感の育成に向けた取り組みが参考になりました。
- ・生徒指導と学校研究の両論がよく分かりました。
- ・学習だけでなく、行事や生徒指導など多方面から9年間を考慮しておられることがよく分かった。他学年への気持ちをハッピーツリーとして言葉で伝え合う活動がとてもよかった。
- ・自己有用感を高める様々な取り組み、地域の特色をいかした生活科、総合学習の系統的な取り組みが大変参考になりました。小、中の壁なく9年間を通しての取り組みがすばらしいと思いました。異学年交流、ハッピーメッセージ等の取り組みをさっそくやってみたいと思います。
- ・遠隔での授業には可能性を感じました。来年度からも続けていくことで、成果が大きくなると思います。
- ・ハッピーツリーをみると「教えてくれてありがとう」「支えてくれてありがとう」という感謝の気持ちがいっぱい書かれていて、読むとハッピーになれる。自己有用感を育むと思います。
- ・生徒指導と研究推進での小中一貫教育の取り組み、参考になりました。無理やり、小中を合わせてというわけではなく、自然な感じで合わせているのでよいと思いました。
- ・小中それぞれのよさをつなぎ、できることからつなげた取り組みに共感しました。また小中一貫教育の効果が数値化され、根拠を明確化しているところに、この教育のよさを改めて感じる事ができた。
- ・兄弟ブロック（3・7、2・8、4、9等…）の取り組みが充実していると思いました。ハッピーツリーの取り組みも参考になりました。
- ・現在校も、宮島小・中学校と同程度の規模です。本年度2つの小学校と1つの中学校がいっしょになり一貫校としてスタートしました。すべてにおいて手さぐり試行錯誤の状態ですが、貴校の取り組みが大変参考となりました。特に、自己有用感を高める取り組み、異学年交流、その事前事後の指導支援はとても大切だなと思いました。
- ・3校の遠隔授業が印象的でした。今後の学校数の広がりに期待します。
- ・研究報告を生徒指導主事の先生がされることが新鮮でした！！分かりやすいお話・パワーポイントで聞きやすかったです。
- ・生徒指導と研究の側面から小中一貫教育を進めておられることはよく分かりました。研究について、たくさんの体験や地域との連携行事を紹介していただきましたが、9年間の系統性がもう少し知りたかったです。
- ・生徒指導面や地域の素材をいかした取り組みを中心にされている様子がよく分かった。1つの視点を中心にしっかりと深めていくことが大切と感じた。
- ・思いがよく伝わりました。ESDの視点は今後ますます重要視されることと思います。学校のおかれ

ている環境・・・なかなか重いものがありますが、それをうまく行かして教育実践につなげていって
ください。

- ・組織的な取り組みがすばらしいと感じました。自校の課題を学校全体で解決していこうとする姿は、
大いに見習いたいです。
- ・小規模校の弱みを強みにかえる、そんな報告でした。地域とともにある学校だと感じました。
- ・一貫した9年間の生徒指導は共感できました。どのような活動も生徒指導(生活規律)なくしては成立
しないので大切だと思います。参考になりました。また、地域の特性やよさを上手く取り入れ、カリ
キュラムに位置づけられていてとても良いと思います。
- ・宮島学園の生徒として誇りを持っているんだなと感ずることができました。自己有用感を持たせよう
というのは私たちの学校での今年のテーマです。
- ・研究の視点が明確で焦点をしぼった取組のように感じました。そのため、その成果が児童生徒の学び
の様子にしっかりあらわれていると感じました。
- ・地域とのつながりや地域についての学習は、本校でも目指す生徒像に「地域を誇りに思い」とうたっ
ており、大変参考になりました。
- ・取組の成果が子どもの姿として、表れているのでとてもよく分かりました。
- ・参考になる部分が多く、取り入れられるところは、積極的に導入したいなと感じました。特に、小と
中のつながり、感謝、手本、いたわりなどのキーワードで自己有用感の向上に統一されていると感じ
ました。
- ・「地域色を生かし、子どもたちを育てる」小規模小中一貫校では同じ方向を向いていくのだな、と思いまし
た。大原校との類似点が多く、うれしくなりました。
- ・一貫校の強みを生かすという取組に、校内の様子から、先生方一つとなって、進められているのが伝
わり、学ぶことが多かったです。温かい言葉が校内にあふれ、報告の内容とともに実感する内容する
内容でした。

☆第2回小中一貫教育小規模校全国サミット全体会について

- ・講話、基調提案ともに大変質が高く、もっとじっくりお話を伺いたいと感じる内容でした。自分の勤
務地に戻りまして、しっかりと伝えたいと思います。ワークショップは周辺の4名くらいの方が話が
深まってよいかと思いました。もっと時間をとっていただけたらうれしいかと思いました。
- ・小規模校の良さを生かした取組を小中一貫という視点からどう位置づけしているか参考になりました。
講話や基調提案で小中一貫教育の意義の理解を深めることができました。
- ・ディスカッションももう少し話を聞きたかった。
- ・小中一貫小規模校について様々な視点から学ぶことができました。
- ・講話・・・小中一貫についての経緯から今後の見通しまでわかりやすくお話していただき、参考にな
りました。
- ・講演・・・歴史的な流れから、今後学校がより新しい感覚で教育を展開していくべきというお話に共
感しました。
- ・歴史としては、まだまだ始まったばかりの小中一貫校の取組として、とても勉強になりました。今後
は、教員一人一人が意識を高めていくことが大切だなと改めて感じました。
- ・小中一貫教育の全国の動きや今後の進め方等について詳しく話がきけたのがよかったです。ICTを
活用すると子ども達をつなげることができると実感しました。子ども達をつなげる手段の一つとして
活用していきたいと思います。他の学校の先生方と意見交換ができ、参考になりました。
- ・「小中一貫教育に期待するもの」－全国的に効果のある小中一貫教育が推進されていることがよくわかりま

した。

- ・「地域とともに元気になる小中一貫教育」ー強制の教育ではなく「創造型」教育へというくだりと「出口管理」（義務教育終了時の児童生徒の力を見る）に責任を持つという所が特に印象に残りました。
- ・義務教育学校による小中一貫教育の相乗効果を実感した。反面、いじめや暴力は発生しないのか？
- ・TV会議システムを利用した遠隔授業の発表が、小規模校にとって大変参考になるものだった。
- ・小中一貫、小規模校のメリットを学ぶことができました。また、義務教育で何を教えるか、考えることの大切さを実感しました。
- ・講話、基調提案ともにとっても分かり易いものでした。貴重な、そして興味深いお話を聞かせていただいたことに感謝します。ありがとうございました。
- ・小松先生のお話をきくと、やはり小中一貫教育を研究してきて間違いではなかったと確信できました。これからは、私が11年間勤めた、小規模小中施設一体型校の時代だとも確認できました。今年も昨年につづき、小規模校の研究をしております、宮島学園の取り組みに大変関心を持っております。
- ・文科省からの話は、これから私たちが進む方向性と、私達に期待されていることがよくわかった。本校は義務教育学校として施設一体型の教育をしています。やはり、本校独特の教育課程を作っこそ、よさが発揮できることを再確認できました。その際は自分たちの研究ももちろんのこと大学や行政などの支援がなければ、なかなか難しいと感じています。このような全国の会に参加することで、いろんな情報をいただけるので、また参加したいと思いました。
- ・グループディスカッション・・・様々な地域の学校の様子をうかがうことができ、全国でかなり進んでいることをしりました。
- ・他地域の状況や一貫教育の歴史や取り組み、考え方など詳しく講演していただき勉強になりました。
- ・一貫教育を進めている国の取り組みが良くわかりました。ただ、データだけではなく現場の声などを入れてもらえれば、よりわかりやすいです。スマホやタブレットが普及する中、ICTを利活用した授業は未来があるように思いました。通信環境さえととのえば、タイムラグもなくなると思います。
- ・少し狭い思いをしましたが、話し合いもしやすく、こんなにたくさんの方が小中一貫を思っているかと思うとたいへん心強く思いました。ありがとうございました。
- ・本校でも現在、特認校制度、小中一貫校の導入に向けて準備しています。小中一貫のメリット等について、考えを整理することができました。
- ・小中一貫教育、義務教育学校について理論的なことが学べてよかったです。課題はたくさんありますが、未来に向かって新しい教育を創造していくのだというモチベーションを抱くことができました。これから何を、どの方向で取り組んだらよいか、何から始めていくのか、できることをさぐっていく上で、大変有意義な研修となりました。
- ・小規模校の問題点「中1ギャップ」克服のため交流をどんどんする、課題だけでなく強みを地域で確認するという話ができた。
- ・来年度からの小中一貫教育に向けて、グループ討議で聞きたいことが聞けてよかったです。実際に取り組んでいらっしゃる先生から話を聞くことができ、参考になりました。ありがとうございました。
- ・小松先生の講話は、小中一貫教育小規模校のもつ可能性について非常にわかりやすく学ぶことができました。
- ・具体的な取り組み実践例をより多く見聞させていただけるとさらによかったと思います。（遠隔授業のように）法的な説明は多く方は知っていらっしゃる部分なのかなと思いました。小中一貫教育の中で、小規模ならではの取り組み、課題や成果について、ぜひ今後も学びたいと思います。参加させていただいて、ありがとうございました。
- ・広島、奈良、京都それぞれの先生方の実践やお話を聞くことで、小中一貫小規模校としてのチーム感

を改めて感じ、心強く感じます。

- ・ICTの遠隔授業は、とても興味深いものでした。小規模校という限られた人間関係という課題がある学校においては有効だと感じました。グループ討議は同じ小規模校ということで、参考になることがたくさんありました。もう少し長く時間をとってほしかったです。
- ・知りたいことや、小中一貫教育をされている学校の話を知ることができ、とても勉強になりました。自校に戻って伝えていきたいと思います。
- ・ICTを活用した遠隔授業は、へき地小規模校の授業改革に大きな可能性を感じる事ができた。グループディスカッションがよかった。もう少し時間が長い方がよかった。
- ・一小一中、小規模校、地域の豊かな財などのメリットをいかした成果を本県にどう活用していくか。また、多小一中、大規模校、地域の財に限られた地域での小中連携のあり方など、考えさせるものであった。
- ・小松先生の熱のこもった話が大変すばらしかった。新しい義務教育を創り出していく必要性を大変感じた。
- ・近くの人と話をする機会があったのは、とてもよかったのではないかと思う。今後のつながりを創るという意味でもよかった。
- ・小中一貫小規模校の持つ可能性を強く感じた。→新しいものを創造することができると感じた。
- ・小中一貫教育について制度面から、考え方からなど様々な視点からの話を聞くことができ参考になりました。具体的な取り組みも聞けておもしろかったです。
- ・様々な角度、立場からのお考えを聞くことができ、勉強になりました。子どもの姿に反映される小中一貫教育について考えていきたいと思います。
- ・グループディスカッションの時間が良かったです。同じような悩みや課題を出し合えて、私たちが次にどうすべきかを一緒に考えていくことができました。どのような生徒を目指していくのかというところが大切なのだと感じました。
- ・小中一貫全国サミット in
武蔵村山にも参加しましたが、小規模校ならではの取組が多くあり、勉強になりました。
- ・森田先生のお話は、義務教育学校のねらいや具体的な取組が書物より分かりやすく、今から自校が小中一貫になる展望が持てました。
- ・グループディスカッションは、宮島学園の先生の生のお声が聞けて、大変参考になりました。不安も少し減りました。
- ・現状、文科省の考えや、大学から見た研究などが分かった。これからどんどん小中一貫教育が進んでいくのではないかと思った。少子化もあいまって、地域の中で育っていくことが大事だなと感じた。
- ・文科省企画課長のお話を直接聞くことができたことは、とても有意義でした。小松教授のお話もとてもわかりやすく勉強になりました。

☆その他ご意見・ご助言などお願い致します。

- ・校舎のいたるところに縦の繋がりを意識していることが分かり、小中一貫の良さがよくわかった。
- ・児童生徒、教員のみなさま。みなさん明るくととてもあたたかい雰囲気ですてきな学校でした。ありがとうございました。
- ・現在勤務している学校も、来年度4月から小中一貫になる予定です。これまでも小中で連携をしてきましたが、教育課程や小学校へ出向いての授業等、今日学ばせていただいたことを参考にさせていただきたいと思います。
- ・美しい宮島で見事に育っている子ども達の姿とそのために尽力されている先生方の姿にたくさんの勇気と「やってやる！」という元気をいただきました。ありがとうございました。
- ・すれちがう子どもたちが、立ち止まって気持ちのよいあいさつをしてくれて、うれしくなりました。あ

りがとうございました。

- ・各種案内がスムーズで教職員・PTAの方々に感謝したい。(コーヒー接待もうれしかった)
- ・こんなにすばらしい研究会(サミット)が参加無料だなんて信じられません。今年度が、まだ第2回ですが、今後のご発展・継続をお祈りします。
- ・大原のご発表のTV遠隔授業のしくみがよくわかりました。
- ・すべてがすばらしい取り組み、発表で感動しました。ありがとうございました。私たちは、31年度の開校に向けて、準備が始まったばかりです。本校は5小1中の施設分離型です。難しさを感じていますが、宮島学園の取り組みを参考にさせていただきながら、がんばっていこうという思いになる1日でした。
- ・地域のつながり、バックアップなどをもっと聞いてみたいと感じました。学校を中心とした地域づくりは誇りを育む小規模校ならではのと思います。
- ・島外から児童生徒が35.8%も来ていることが驚きでした。自分は昨年卒論で離島の小規模特認校をフィールド調査した経緯があります。その中には約9割の児童生徒が島外から来ていたり、10割全ての児童生徒が島外から来ている事例がありました。宮島小中学校も今後、島内外の児童生徒の人数が逆転することにもしなると、地域の人々の理解、保護者のニーズの変化を迎える日が来るかもしれないと感じました。
- ・控え室やお弁当、お茶やコーヒー、もみじまんじゅうまで細やかなお心配りに大変感謝いたします。本当にありがとうございました。
- ・これだけの大会を準備、運営され、大変なことだったと思います。宮島小中学校の先生方のご尽力に感謝申し上げます。
- ・講話「小中一貫教育に期待するもの」はたいへんわかりやすい解説であった。
- ・地域とともにある学校を意識して、小中一貫教育を進めることで学校や地域を誇りに思える子どもたちが育っていくことを確信しました。
- ・本校は、小100人、中50人の小規模一貫校です。このようなサミットがあることはとても心強いです。